



平成 30 年 11 月 5 日

各 位

会社名 株式会社 理 經
代表者名 代表取締役社長 猪 坂 哲
(コード番号 8 2 2 6 東証第二部)
問合せ先 取締役経理部長 長谷川 章詞
(TEL. 03 -3345 -2153)

平成 31 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異

平成 30 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)の業績予想における予想値と比較して、本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 30 年 5 月 14 日発表)	3,800	△210	△220	△220	△14 円 55 銭
実 績 値 (B)	4,570	△65	△64	△76	△5 円 08 銭
増減額 (B - A)	770	145	156	144	
増 減 率 (%)	20.3%	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	3,117	△264	△264	△275	△18 円 21 銭

2. 差異が生じた理由

連結の実績値につきましては、システムソリューションにおいて中央省庁向けシステム更新の大型案件が順調に推移し、ネットワークソリューションにおいては防災情報分野で J アラート新型受信機の更新実施時期に遅れが発生したものの、放送事業者向けの映像配信システム案件が好調に推移するなど売上高が増加いたしました。また、電子部品及び機器においても、株式会社エアロパートナーズにおいて一部案件が前倒しになるなど好調に推移した結果、連結売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、平成 30 年 5 月 14 日に発表いたしました業績予想を上回る見込みとなりました。

なお、平成 31 年 3 月期通期の連結業績予想については、現時点において、最近の国内外の経済状況の変動を鑑み、平成 30 年 5 月 14 日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

以 上